

[課程-2]

審査の結果の要旨

氏名 森岡 典子

本研究は、診療報酬におけるより高い看護配置基準が看護職員の地理的分布の関連要因であるかについて検討するために、行政文書を用いた二次医療圏単位での地域相関横断研究を試みたものであり、下記の結果を得ている。

1. 二次医療圏別の入院料別病床数の地域分布を可視化した。人口あたり7対1病床数は、都会と地方だけでなく、地方間での地域差があることが明らかとなった。
2. 二次医療圏の地域特性を調整後、7対1病床の地理的分布が病院病棟看護師の地理的分布と最も強く関連していた。看護配置基準が高い病床数ほど関連が強い傾向がみられ、配置基準に準じて看護師が配置されていることが示された。看護師の地理的格差是正の1つの方策として、7対1病床などの地域差の是正が必要であることが示唆された。
3. 入院料ごとの病床数との関連の強さは、看護師、准看護師、看護補助者の職種ごとに傾向に違いがみられ、診療報酬におけるより高い人員配置基準の評価は、看護師だけでなく、准看護師や看護補助者の地理的格差にも関連する要因であることが示唆された。

以上、本論文は、行政文書を用いた地域相関研究により、二次医療圏別の入院料別病床数の地域分布を可視化し、診療報酬制度上での手厚い看護配置基準に伴う入院料別病床数と看護師の地理的分布との関連の程度を定量的に示した初めての研

究である。今後の医療制度改革において、地域医療構想および診療報酬による病床機能分化の推進、医療従事者の適正配置を議論する上での重要な貢献をなすと考えられ、学位の授与に値するものと考えられる。